

熊本県と崇城大学との包括連携協定について ～パイロットのふるさとづくり等推進～

H24.8.24
熊本県・崇城大学

【背景】近年、航空機材の小型化・多頻度化、及びLCCの進出等によりパイロットニーズは増加傾向にある一方、国等のパイロット養成が不十分な状況。他方、熊本県では、阿蘇くまもと空港の拠点性向上を図るため、他の空港にはない新たな付加価値を見出し、大空港構想を推進することとしている。

熊本県による大空港構想の推進を通じた空港の拠点性向上・地域の活性化

優秀な若者の集積

パイロットを目指す全国の若い優秀な頭脳を熊本に集め、熊本の魅力向上を図る。

空港周辺地域の活性化

空港の活力を高めるとともに、多くの若者の地元定着を通して、周辺地域の活性化にも繋げていく。

天草空港の利活用

天草エアラインだけでなく、パイロット養成での利用拡大についても可能性を検討する。

空港の広域防災拠点化

大規模災害発生時に阿蘇くまもと空港が広域的な防災拠点となるよう連携を図る。

崇城大学の特色ある教育内容と空港キャンパス施設を活用した地域貢献

国内屈指の訓練施設

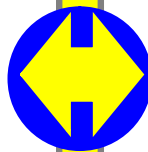
航空会社が以前パイロット養成のために設立した訓練施設を活用しており、パイロット養成を行う国内の大学の中では唯一、空港に隣接したキャンパスを持つ恵まれた環境を誇る。

経験豊かな教授陣

元国際線の機長や整備士、航空会社での乗員教育の経験者など豊富な経験・ノウハウを有する専門家による教育体制を誇る。

優秀な採用実績

今春初めての卒業生4名を送り出し、航空会社への全員合格を達成。



官学連携

県と大学の力を結集し、空港を活用した熊本の拠点性向上・地域の活性化

連携事項

航空産業の人材育成の推進

< 想定される取組事例 >

崇城大学が有するポテンシャルを最大限活用するため、熊本における人材育成の推進を図る。

天草空港と連携し、天草空港の更なる利活用を検討。

連携事項

地域の情報発信

< 想定される取組事例 >

類をみない取組み推進地域として、熊本・天草を全国的にPRし、地域活性化を図る。
パイロットの訓練風景を観光資源として活用する。

連携事項

大規模災害発生時の協力

< 想定される取組事例 >

大規模災害が発生した際に、崇城大学の空港キャンパス施設を有効活用する。

「知の集積」

「九州を支える空港機能」

将来像

阿蘇くまもと空港・天草空港、及びその周辺地域を中心として、
「熊本をパイロットのふるさと」に！